

日付	JIS番号：発効年 規格名称	件名	問合せ内容	回答
2011. 10. 14	G 3552：2007 ひし形金網	ひし形金網における 端末ナックル加工及 びねじり加工された 製品の当該JIS規格の 適合性等について	<p>1. 端末ナックル加工及びねじり加工した製品の当該JIS規格7.形状、寸法及びその許容差の適合性は、それらがまだ加工がされない状態で箇条第7項の形状、寸法及びその許容差が、当該JIS規格に適合していればよいと判断してよろしいか？</p> <p>2. 当該JIS規格の7.6突出し長さの寸法では、「図1に示すように、列線の最端の屈曲部から末端までの長さとし」とあるが、図1では、列線の最端の屈曲部前の直線部に対する垂直距離を測定するように見えるが、列線の最端の屈曲部から末端までの製品の実際の長さと考えますがそれでよろしいか伺います。</p>	<p>(回答1) ご指摘の判断どおり。 端末ナックル加工及びねじり加工を施す前の状態で測定し、形状、寸法及びその許容差を満足すれば結構です。</p> <p>(回答2) ご指摘の判断どおり。 列線の最端の屈曲部から末端までの実際の長さが「突き出し長さの寸法」になります。</p>